# 会　議　議　事　録　（抄）

| | |
|---|---|
| 会　議　名 | 2024年度専門学校東京テクニカルカレッジ<br>第一回　Web系教育課程編成委員会 |
| 開催日時 | 2024年7月22日（月）15時40分～17時00分 |
| 会　　場 | 専門学校東京テクニカルカレッジ 505教室 |
| 参　加　者 | ＜外部委員：3名＞　　（順不同・敬称略、役職は委員名簿参照）<br>中山 典隆（有限会社イプシロン／東京商工会議所中野支部）<br>叶　修吾（株式会社博報堂プロダクツ）<br>杉山　司（桔梗ICTパートナーズ株式会社）<br>＜内部委員：1名＞<br>川辺 伸司　（ 専門学校東京テクニカルカレッジ Web動画クリエイター科科長） |
| | ＜系別分科会＞（第二部）<br>1.議長挨拶　川辺より挨拶<br>2.前回（系別分科会）議事録の確認<br>3.意見交換　学科の近況報告、学科の課題共有、業界動向ついて実施。 |
| 討議内容 | **■2024年度在籍状況について**<br>議長より学科の現況について、委員に報告した。 |

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 2年 | 8名 | 17名 | 25名 |
| **1年** | **15名** | **20名** | **35名** |

▶

| 内訳 | 高校 | 既卒 | 就業経験有 | 留学生 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2年 | 12名 | 2名 | 11名 | 0名 | 25名 |
| **1年** | **15名** | **2名** | **13名** | **5名** | **35名** |

既卒：浪人、大学卒業、中退者

【川辺】

2024年度入学者は前年より高校生、社会人が微増、留学生が増え、10名増の35名。学校全体で留学生の応募者が大幅増。この傾向は来年度も続く見込み。当科の5名はIT系学科の中では少ない方。

留学生５名の内訳はロシア（男）、ロシア（女）、ベトナム（女）、ミャンマー（女）、台湾（女）。皆、日本語はN2以上レベルで勤勉。

昨年に引き続き東京都専門人材育成訓練生（学び直し支援）を10名受け入れ。今回は応募者減。（3.6倍→1.6倍に）事前説明会の来場者も例年より少なかった。来年度募集の不安要素である。高校生の見学者では昨年同様、YouTube動画のスタッフの仕事をイメージしている「動画編集者」を志望する高校生が多かった。

【叶委員活】

留学生が増えている要因は？留学エージェントの関係か？

【川辺】

コロナによる入国制限が少なくなって２年ほど経ち、堰を切ったように来日に日本語学校に入学。その後、１年日本語学校で勉強するので、専門学校には１年後に波が来たと思われる。現在のオープンキャンパスの来場状況を見ると留学生の参加は昨年同様に多く、来年度も留学生に入学者は多くなると予想される。

【中山委員】
東京都専門人材育成訓練生の応募者が減った要因は？

【川辺】
事前説明会を実施していた時、来場者が例年よりも少なかったので、景気が良くなり離職者（及び予定者）が少なくなったのでは、と予想していたが、この制度全体の応募者数は減っておらず、そうではなかった。
一番考えられるのは類似した分野のコース（アプリ・Web 制作学科）の実施校である早稲田文理専門学校がパソコン無償貸与を打ち出したため、そちらに出願者が流れたのでは無いかとの予想。出願者数も当科より多かった。
学校として募集告知のアクションも少なくタイミングが遅かったことも反省点である。

■就職活動状況について
議長より現在の２年生の就活状況について委員に報告した。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 内定 | 11名 | Web制作企業 | 2名 |
| | | Webマーケティング企業 | 1名 |
| | | ユーザー企業（アパレル　Web担当） | 1名 |
| | | システム開発企業 | 1名 |
| | | 映像技術者アウトソーシング企業（※1） | 4名 |
| | | Web制作者アウトソーシング企業（※2） | 0名 |
| | | その他（製造系） | 2名 |
| 未決定 | 6名 | 活動中（うち最終選考中４名） | |
| 秋以降活動 | 6名 | 社会人経験あり 30代（※3） | |
| 活動せず | 2名 | 就活に踏み切れず。 | |

【川辺】
昨年に引き続き映像技術者アウトソーシング企業で早期内定を確保した。
TV 番組制作スタッフへの技術派遣。採用枠が多く早期に内定が出るため、映像希望者には全員エントリーをさせ内定を獲得。入社を決めている者もいれば、就活を継続している者もいる。

昨年開拓した Web 制作者アウトソーシング企業への選考が今年は苦戦している。昨年開拓し内定者確保に貢献した採用枠が多い Web 制作のアウトソーシング企業が今年は応募者増により難易度が上がり不合格者続出している。現在、最終選考に２名のみ残っている。

社会人経験ありの 30 代の６名は年明けの中途市場で勝負させる予定で、就活は秋以降に始動させる。20 代の 5 名は現在就活中で 3 名が内定獲得。残り 2 名も 8 月中に決まる見込みである。

■学科活動トピックス　2024/1～

議長より前回の編成委員会以降の学科活動のトピックスを報告。

① Web デザイナー検定　トップ合格で文部科学大臣賞　受賞

文部科学大臣賞　２年生：村上明穂さん

【川辺】

トップ合格での大臣賞受賞は 2019 年に続き２度目

② Web デザイナー検定　団体表彰逃す

全員合格ならず 24 名中 3 名不合格であった。3 年連続受賞の CG-ARTS 優秀校ならず。

【叶委員】

試験対策は行なっているのか？

【川辺】

授業で行っており、過去問題からの模擬試験を繰り返し行う。その対策の成果が高い合格率につながっていた。

今年は試験の難易度が急激に上がり、出題傾向も変わり試験対策で教えていた範囲外からの出題もあった。

受験者全体の合格率は 75%から 65%まで下がった回であった。その中でトップ合格の学生が出たことは誇れる結果である。

③ RJP（リアルジョブ・プロジェクト）

吉祥寺のボーリング場　「dig bowl」　販促 PR 支援プロジェクト

プロモーション動画の制作を中心に、ノベルティグッズ、チラシなどのデザインを担当し進行中。

dig bowl
Kichijoji

**受託案件**

1）プロモーション動画
2）施設で配布するノベルティグッズデザイン
3）施設で配布する　チラシデザイン

■学科の課題（共有）

議長より現在、学科が抱える課題について報告し、委員より意見収集を行った。

【川辺】

現在の一番の課題は「 就職（出口）」である。

「募集（入口）」-「学習（在学）」-「 就職（出口）」というエンロールマネジメントにおいて

「募集（入口）」は開設当初は苦労したものの、なんとか集まってきた

「学習（在学）」は賞などの対外評価もいただける成果を出し、退学者も少ない

一番の課題は「 就職（出口）」。

【川辺】

1）内定獲得に時間を要する

システム開発と比べて採用枠が少なく、他学科と比べて、内定獲得までに時間がかかる。何社もエントリーし選考を受けなければならない。制作職を回避する学生はECサイト運用、SNS運用スタッフやマーケティング系会社の総合職を受けさせるが、最近はその手の企業に大卒が多く入り込んできており、負けてしまう状況。

Webの制作者は人材不足が叫ばれるIT人材（現在で言うDX人材）の枠組みに入れていない。

Pythonなどのプログラミング言語やサーバーサイド技術をカリキュラムに取り入れ人材スペックに追加することも必要かと考えることもある。

【中山委員】

そこまでする必要は無くて、まずはフロント・エンド・エンジニアで打ち出して行けばいいと思う。ニーズは十分あるので。

【川辺】

2）就業経験がある30代以上の就活

今まで全員決まってきたが、今年度は30代とは言え、年齢もアップ。（最高で39歳）来年度は40代（41歳、49歳）も控えている。

前回の議論でご意見をいただいた、「専門人材育成訓練で習得する技術を客観的に示すもの・方法」を検討していく。

【中山委員】

年齢が高い人は、これまでの実務経験をどう活かせるのかを提案できるアピールをしていくしかないと思う。過去の経験をアピールにつなげるためのサポートが必要。

【叶委員】

志望動機、自己PRなどはアドバイスすることができるので、必要であればお声がけしてほしい。

【川辺】
3）留学生の就活
留学生がWeb系の会社から内定を獲得するのは、日本人以上に優秀でないと難しい。
今までは外国人が経営するシステム開発会社に入るケースが多かった。昨年２名の留学生は優秀でWeb系企業に入社。

現在の１年生である５名が控えており、来年度も留学生は増える見込み。留学生の就職先開拓は来年に向けて大きな課題である。そもそも、皆さんの現場に外国人はいるか？

【叶委員】
当社には居る。就職となるとN1は必須になるが。

【川辺】
N1所持している学生はいて、そのような学生は日本人以上に優秀なので課題にはならない。内定も自力で獲得してくる。N2手前の留学生を日本で就職させることが課題となる。

【中山委員】
日本で就職しなければならないのか。

【川辺】
母国に帰っても仕事がない。またはミャンマーのように内部情勢で帰れないという事情を抱える留学生もいる。

【叶委員】
地方、例えば九州の通販サイト系の仕事では業務量も増えており外国人労働者のニーズもあるのでは。

【中山委員】
確かに地方の方が、外国人雇い入れのニーズは首都圏よりあるかと思う。

【川辺】
以前、サイトリリース前の動作テストだけ請け負う会社が地方に多くあったが、現在もあるかもしれない。地方の会社についてリサーチしてみることとする。

【中山委員】
「 就職（出口）」に関して、話を聞く限り、課題は見えているので、それぞれの課題に対して対策を実行していけば良いと思う。

■最近の動向について（ご意見伺い）

議長にて最近の業界の動向について、委員に意見収集を行った。

【川辺】
皆さんのお仕事の中で、技術動向、人材動向、お客様の要望などで、何か変化を感じる事があれば教えていただきたい。

【叶委員】
リアルイベントの仕事が増えている。コロナで溜まっていたものが吹き出しのでは無いか。パンフなどの紙媒体の仕事も増えている。
デジタルだと残らず流れてしまうという側面もあり、クライアントはリアルなものを求めていると感じる。

【川辺】
リアルイベントはクライアント側も「やった感」がある。予算がありGoが出やすい状況となれば増えるだろう。先日の東京ビッグサイトのコンテンツ東京も大盛況だった。

【中山委員】
なぜか最近、ご無沙汰していた古いクライアントからの相談が増えている。やはり景気が良くなってきたということかもしれない。

【叶委員】
CMの制作本数も上がってきている。

【川辺】
技術動向として、生成AIの活用に関しては何かあるか。
オープンキャンパスに来場する保護者の方からよく聞かれるのは「これは将来AIに取られてしまう仕事でしょうか？」ということ。

【中山委員】
自動車は機械によりオートメーションで作られるけど、故障したら人間がまず見て、人間の手で修理する。こういう事を理解して欲しいとはと思うが、確かに身につける技術を選ぶ側からすれば普通に考えることであり理解できる。

| | |
|---|---|
| | 【叶委員】<br>生成 AI の活用でいうと、CM 制作で活用が始まっている。<br>対象の商品、求めるテイストを入力すると、過去の制作データからサンプル映像を生成してくれる。絵コンテの手前まで AI がやってくれる。しかし、クリエティブの仕事はそこから重要で、あとは人間が考え制作していくこととなる。<br>ただ、そこまで活用が進んでいる。<br><br>【川辺】<br>生成 AI について、画像（静止画）処理は昨年学生と研究したが、映像の生成 AI については、良いものが、見つかっていない。夏休み明けからの新技術チャレンジの授業にむけて研修を始めることとする。<br><br>以上 |